



ブラジルから

こんにちは Boa-tarde ホ"ア タ"ルデ"

サンパウロ日本人学校

2018.1.14

No.23



● 伝統的なスポーツ カポエイラ ●

↓写真：Mestre Brasília

日本の国技（国を代表する競技）は、「すもう」とみなされていますが、ブラジルが国技として制定しているのは、意外にもサッカーではなく、「カポエイラ」です。

カポエイラは、アフリカからブラジルに奴隷として連れてこられた黒人たちが生み出したと言われています。自分の身を守るために練習していたとされる格闘技ですが、楽器の伴奏と歌に合わせてダンスをするように技をあやつるのが特徴です。

また、基本的に技を直接相手に当てたり、勝ち負けをつけたりといったことをしません。互いを尊重しあい、相手との距離をはかりながら、その時に出せるベストな技をくり出し合う、そんなスポーツです。



ピリンバウ

カポエイラにおいてメインで使われる、弓のような形をした楽器。170cm くらいの棒に針金一本張っており、ヒョウタンがくりつけられているだけというシンプルなもの。



ピリンバウを作ってみました。

左) 強さとやわらかさをあわせ持った、「ピリーバ」という木がよく使われます。近年、この木はたくさん伐採されて数を減らしており、早く再生させるため適切に切るように指導されているそうです。下) 日本とは違う形の「ひょうたん」。



↑写真：BIRIMBAU VERDE



②ガラスの破片で表面をなめらかにし、さらにやすりをかける。



①乾燥させた木の皮をナイフでそぐ。おもしろいようにすると皮がむけるものもある。その後、節をけずる。



③木の太い方に針金をひっかける部分を作る。反対側には、丸くりぬいた牛革をくぎで打つ。



④ひょうたんの中身をくりぬき、ひもをつける。

⑤完成！

